

The International Carbon & Graphite Materials Conference
7th Needle Coke & Application Market International Forum 参加報告

CMI 社・技術開発部

中国・桂林で2017年4月19日～21日に開催されたニードルコークスを中心とした炭素材料の市場・用途に関する国際会議に要請に応じて出席した。

主催者はICCSINO <http://en.iccsino.com/>である。



会議は二日間であり、中国鉄鋼・炭素製品市場全般においては、2016年は中国粗鋼生産800百万トンに対し消費670百万トンに代表される様に需給ギャップが顕在化された極めて厳しい1年であった。その後2017年1-3月は、昨年対比プラスで推移するも供給過剰解消には至っておらず今後競争力が劣るプレイヤーの撤退等、構造改革を進める必要がある。それに加え環境規制への対応、国際競争力強化の為の開発投資も必要で、2017年及びそれ以降の一定期間厳しい環境が続くと見られる。

その中でニードルコークスの中国国内市場は全体の市況低迷に加え、主要用途の黒鉛電極向けでは大電流通電可能なUHP電極から低級のHP電極へのシフトによる高級グレードの減少もあり、2016年はやはり厳しい1年であった。一方でリチウム二次電池負極材向け用途の伸びは堅調で、中期では黒鉛電極向けと併せ強気の見方（2016年供給15.3万トンに対し2020年は同44万トンを予想）をしている。

品質面では中国産ニードルコークスも改善されてきているものの、650-700mmφ級の大口径電極製造用に供するには欧米・日本に比べ依然として差があるのが現状である。リチウム二次電池負極材市場においても、中国産は品質向上が必須であり、市場拡大に併せた供給量拡大と共に、それらに応じた動きが活発化しつつある。

以上、全体としては中国鋼鉄・炭素製品市場は依然厳しい環境下にあるものの、量的拡大が見込まれるリチウム二次電池負極材向け用途への対応を始め、中国企業側では成長に向けた布石を打ち始めている事が感じられた。

以上